

スルガ銀行 2016

ミニディスクロージャー誌

第206期営業の中間ご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日

当社の概要 平成28年10月31日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国	内	134
	静岡県内	78	神奈川県内 40
	東京都内	7	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	京都府内 1
	広島県内	1	福岡県内 1
資本金	30,043百万円		

目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
株式についてのご案内	16
トピックス	17
“夢”の応援活動	18
CSR活動 社会・地域とのつながり	20
主なインターネット支店一覧	22
営業店舗網	23

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。ここに当社第206期中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、英国のEU離脱に伴う混乱の影響等の懸念はありましたが、企業収益が底堅さを維持したことに加え、良好な雇用・所得情勢を受けて緩やかな回復基調が継続しました。

足元の日本経済は、平成28年10月調査の日銀短観にみられるように、円高や世界経済の先行き不透明感の中、景況感は横ばい圏内で推移しております。個人消費は夏場の天候不順が下押しに作用しましたが、人手不足を背景とした良好な雇用・所得情勢のもと、今後も緩やかな増加が見込まれます。政府は8月に28兆円規模の経済対策を閣議決定しており、公共投資の拡大による景気の押し上げが期待されます。また、日銀は、9月に金融政策の「総括的検証」を実施し、新たな金融政策の枠組みとして「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入しました。経済対策と新たな金融政策との相乗効果による実体経済への好影響の波及が待たれるところであります。

【業界動向】

金融機関におきましては、日銀の掲げる2%の「物価安定の目標」の早期実現に向けて、「オーバーシュート型コミットメント」ならびに「イールドカーブ・コントロール」のもと導入された「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の金融環境下において、その金融仲介機能の適切な発揮により、個人や企業、地域の経済活動に貢献していくことが期待されております。お客さまとの信頼関係を築き、将来を見据えた持続可能で強固な経営基盤を構築するために、各金融機関は特色ある経営戦略を確立し、基礎的な収益力ならびに自己資本の充実を図るとともに、経営の効率性ならびに安全性を高めるべく取り組んでおります。

【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当中間期におきましては、当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高が着実に増加し、業務粗利益、業務純益、コア業務純益、中間純利益のいずれも最高益を更新することができました。中間配当金につきましては、当初予定どおり、1株当たり10円といたしました。

【当期中の取組み】

新たな取組みにつきましては、平成28年4月より、邦銀初となるライフプランニング機能を搭載した、家計簿・資産管理スマートフォンアプリ「d-wallet」の提供を開始いたしました。本アプリでは、10の質問に答えるだけで手軽にライフプランシミュレーションの作成が可能のほか、当社口座だけでなく、他行の普通預金口座の管理も可能となりました。また、東京ミッドタウン(六本木)をはじめ、5店舗を展開するコミュニケーションスペース「d-labo(夢研究所)」のコンテンツ配信など、通常の家計簿アプリとは異なる、多彩なサービスを提供しております。

営業店舗につきましては、平成28年5月にインターネット支店「リクルート支店」をオープンし、平成28年10月には大型商業施設ららぽーと湘南平塚のオープンに合わせ、「ららぽーと湘南平塚出張所」をオープンいたしました。店舗のリニューアルオープンにつきましては、平成28年4月に「茅ヶ崎鶴が台支店」をリニューアルオープンし、平成28年5月に「福岡支店」、また平成28年9月には大場支店を「函南支店」としてそれぞれ移転、リニューアルオープンいたしました。平成28年10月には、東京日本橋スルガビル1階の「スルガ銀行ANA支店 FINANCIAL SPACE」を、同ビル2階に移転、内装やコンテンツを大幅に刷新し、「スルガ銀行ANA支店 Financial Center」として新たにオープンいたしました。「スルガ銀行ANA支店 Financial Center」では、インターネット支店のお客さまとのリアルな接点の場として、金融に関するカウンセリングのみならず、定期的にセミナーやイベントを開催し、旅や金融のヒントや気づきに溢れるコミュニケーションの場を提供してまいります。

平成28年10月末の店舗数はインターネット支店の13か店を含め134か店となっております。また、当社の基幹事業の一つである住宅ローン等のご相談窓口「ドリームプラザ」、「ハウジングローンセンター」につきましては22か所で営業しております。

当社におきましては、平成28年4月より新しい長期経営計画「Aim25」がスタートいたしました。今後は「ライフ アンド ビジネス ナビゲーター(夢先案内人)」として、「お客さまの〈夢〉の実現」をより積極的に、より能動的にサポートし、お客さまの期待を超えた良質のサービスをご提供できるよう、当社グループ社員一丸となって努力してまいります。

皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



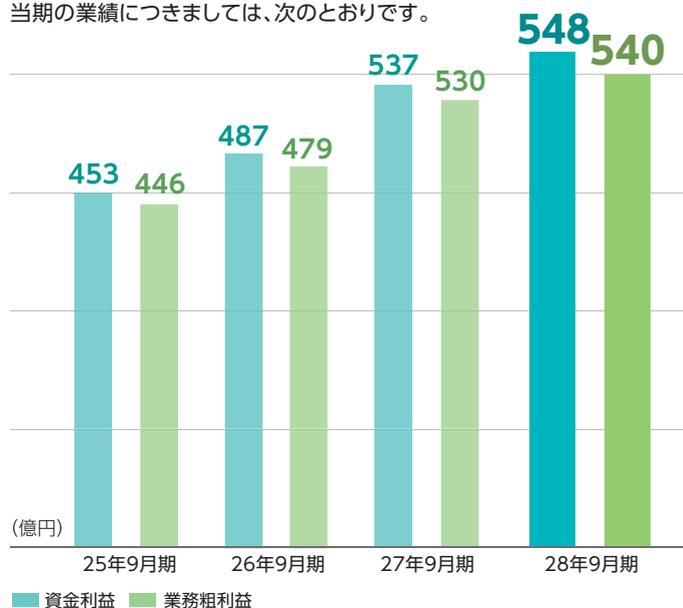
平成28年12月

会長・CEO

岡野光喜

営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。

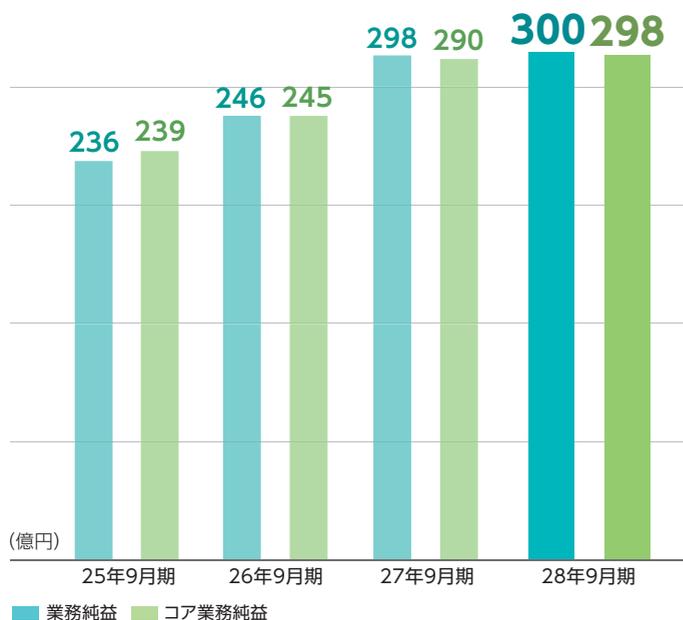


■ 資金利益 / 業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表し、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。

資金利益は収益性の高い個人ローンを中心とした貸出金残高が引き続き好調に推移したことなどにより、前年同期比11億円増加しました。

業務粗利益、資金利益ともに、最高益を更新することができました。



■ 業務純益 / コア業務純益

当社のコアビジネスのひとつである個人ローン残高が好調に増加し、コア業務純益は前年同期比8億円増加しました。

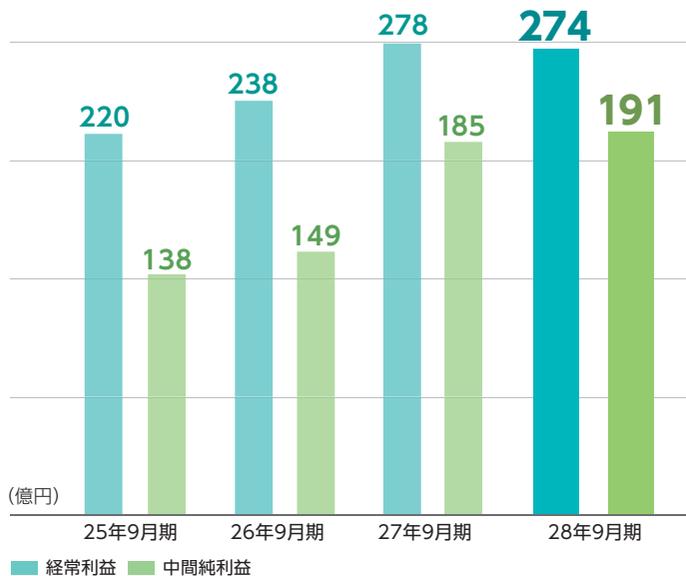
業務純益は資金利益の増加などにより、前年同期比2億円増加しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

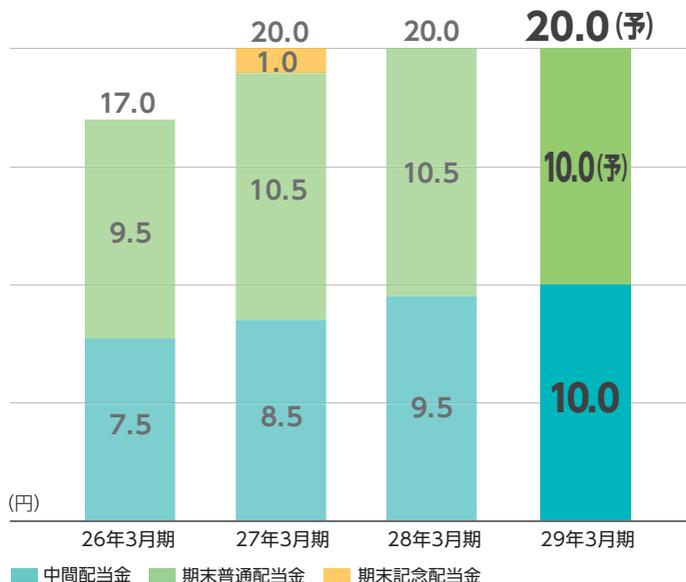


■ 経常利益 / 中間純利益

経常利益は、業務純益が増加したものの、不良債権処理額の増加により前年同期比4億円減少しました。

中間純利益は、前年同期比6億円増加しました。

中間純利益は最高益を更新することができました。



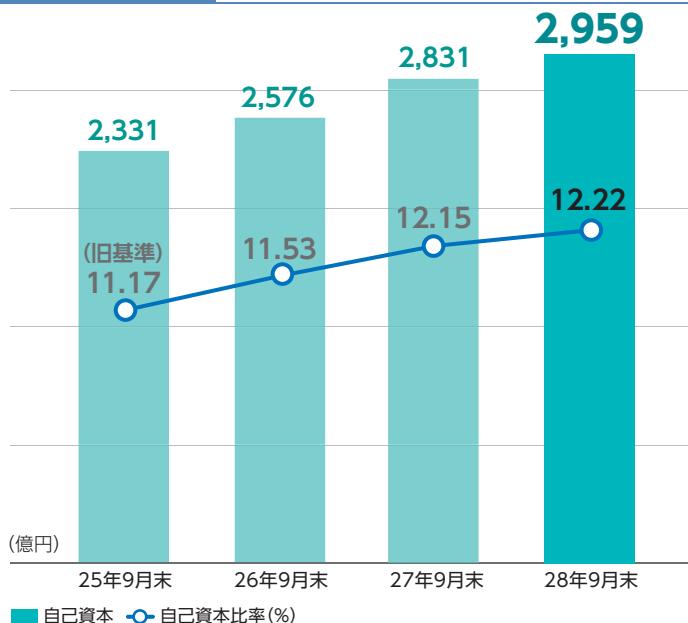
■ 一株当たり年間配当金

貸出金残高が順調に増加し、資金利益が最高益を更新するなど、本業が順調に推移していることなどから、中間配当金は、当初予定どおり1株当たり10円といたしました。

年間配当金につきましては、一株当たり20円を予定しております。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。

営業の概況



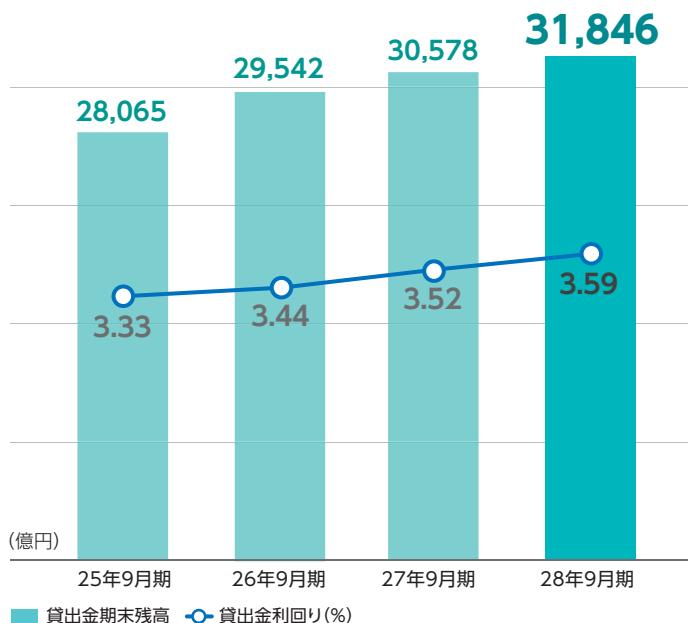
■ 自己資本／自己資本比率 (国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、利益の積み上げに伴う内部留保の増加により12.22%と、引き続き高水準を維持しております。

自己資本および自己資本比率は、26年3月末よりバーゼルⅢを踏まえた新基準(国内基準)にて算出しております。(経過措置を適用)

自己資本は〈自己資本に係る基礎項目〉から〈自己資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。当社の〈自己資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

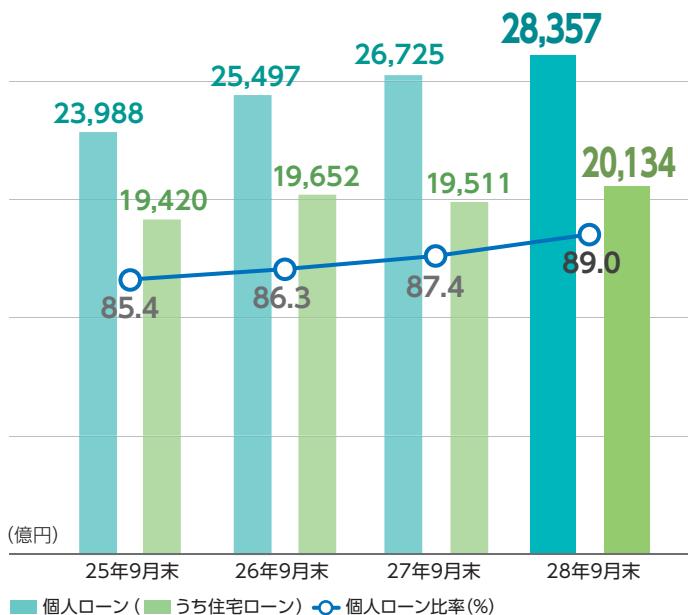
自己資本比率 = 自己資本額(自己資本に係る基礎項目 - 自己資本に係る調整項目) / リスクアセット等 × 100



■ 貸出金期末残高／貸出金利回り

貸出金期末残高は個人ローンの順調な増加により、前年同期比1,268億円増加の3兆1,846億円となりました。

貸出金利回りは、前年同期比0.07%上昇し、3.59%となりました。

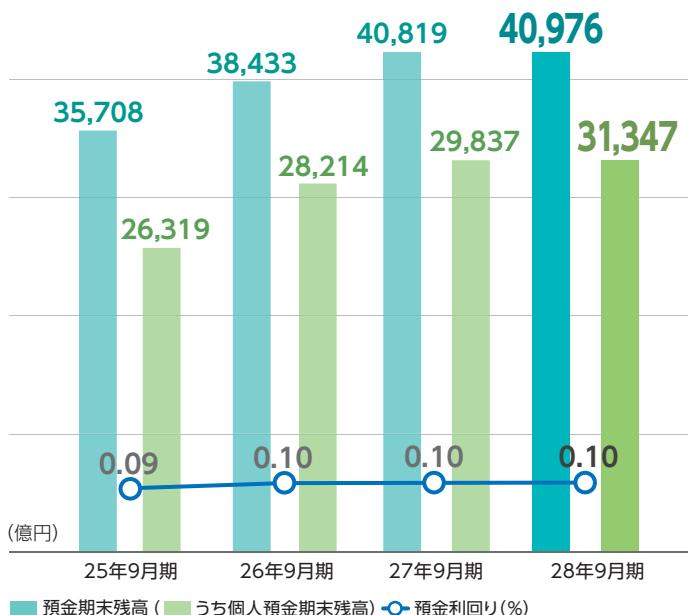


■ 個人ローンの推移

個人ローン残高は、さまざまな資金ニーズにお応えできるパーソナルローンの増加を主因に前年同期比1,632億円増加し、2兆8,357億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年同期比623億円増加し、2兆134億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は89.0%となりました。



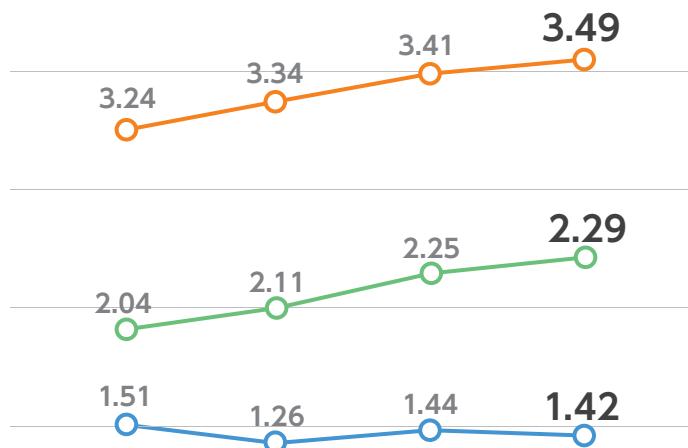
■ 預金期末残高／預金利回り

預金期末残高は、個人預金の増加を主因に前年同期比157億円増加し、4兆976億円となりました。

個人預金残高は、前年同期比1,510億円増加し、3兆1,347億円となりました。

預金利回りは、前年同期比横ばいの、0.10%となりました。

営業の概況



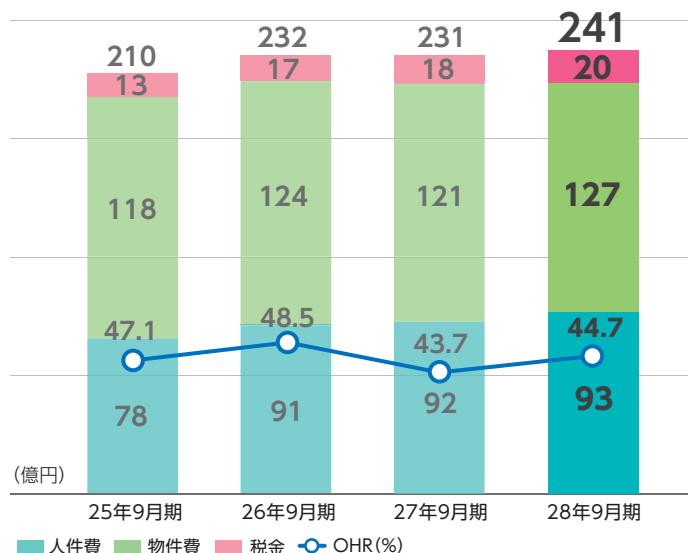
(%)

25年9月期 26年9月期 27年9月期 28年9月期
 ○ 預貸金粗利ざや ○ 預貸金利ざや ○ 総資金利ざや

■ 預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りに対し預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

預貸金利ざやは、貸出金利回りの上昇により、前年同期比0.04%拡大し、2.29%となりました。



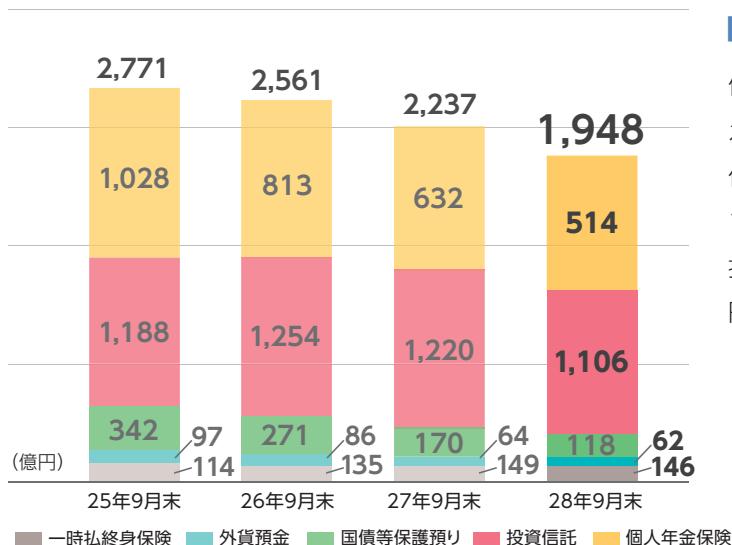
(億円)

25年9月期 26年9月期 27年9月期 28年9月期
 ■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金 ○ OHR (%)

■ 経費／OHR

経費は、前年同期比10億円増加し、241億円となりました。業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、前年同期比1.0%増加し、44.7%となりました。

$$\text{OHR(オーバーヘッドレシオ(\%))} = \text{経費} / \text{業務粗利益} \times 100$$

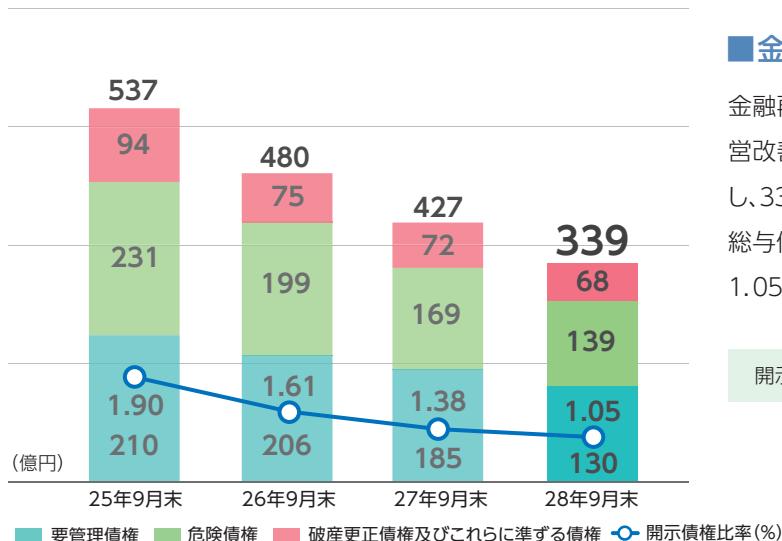


■個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、契約期間満了を迎えたことによる個人年金保険の減少や個人預り資産、国債等保護預り残高の減少により、前年同期比289億円減少し、1,948億円となりました。

投資信託については、株式市場低迷により、前年同期比114億円減少しました。

不良債権の状況



■金融再生法開示債権残高・比率の推移

金融再生法開示債権残高は、マクロ経済の緩やかな改善や、経営改善支援などの取引先支援により、前年同期比88億円減少し、339億円となりました。

総と信額に対する開示債権比率は、前年同期比0.33%低下し、1.05%となりました。

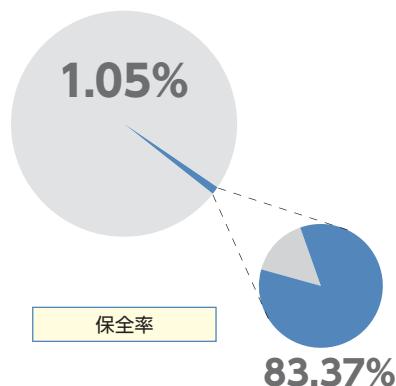
$$\text{開示債権比率(\%)} = \frac{\text{開示債権残高}}{\text{総と信残高}} \times 100$$

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象:要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債

総与信残高に占める比率

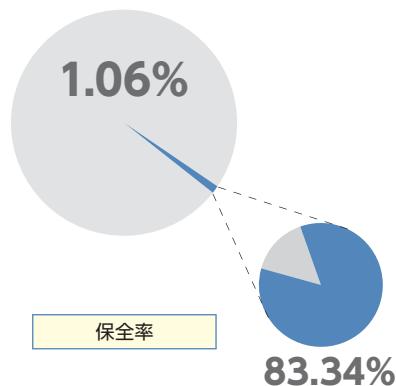


		担保・保証	引当額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	68億円	45億円	22億円	100.00%
危険債権	139億円	114億円	8億円	87.41%
要管理債権	130億円	68億円	23億円	70.33%
小計	339億円	228億円	53億円	83.37%
正常債権	3兆1,708億円			
合計	3兆2,047億円			

リスク管理債権

対象:貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	6億円
延滞債権	201億円
3か月以上延滞債権	2億円
貸出条件緩和債権	128億円
合計	338億円

貸出金残高(未残) 3兆1,846億円

自己査定における債務者区分

対象:貸出金等と信関連債権

破綻先	6億円
実質破綻先	61億円
破綻懸念先	139億円
要注意先	
要管理先	227億円
要管理先以外の要注意先	1,632億円
正常先	2兆9,979億円
合計	3兆2,047億円

※貸出金等と信関連債権:貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

財務情報

中間連結貸借対照表 (平成28年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	902,854
コールローン及び買入手形	3,756
商品有価証券	71
金銭の信託	1,092
有価証券	225,012
貸出金	3,184,736
外国為替	2,723
リース債権及びリース投資資産	5,472
その他資産	41,804
有形固定資産	51,351
無形固定資産	29,218
退職給付に係る資産	5,742
繰延税金資産	2,902
支払承諾見返	3,378
貸倒引当金	△22,011
資産の部合計	4,438,104

科目	金額
(負債の部)	
預金	4,089,129
借入金	1,295
外国為替	18
その他負債	23,888
賞与引当金	726
退職給付に係る負債	266
役員退職慰労引当金	3,191
睡眠預金払戻損失引当金	240
偶発損失引当金	194
繰延税金負債	275
支払承諾	3,378
負債の部合計	4,122,604
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	5
利益剰余金	269,971
自己株式	△687
株主資本合計	299,333
その他有価証券評価差額金	12,535
繰延ヘッジ損益	△68
退職給付に係る調整累計額	1,399
その他の包括利益累計額合計	13,865
新株予約権	43
非支配株主持分	2,257
純資産の部合計	315,499
負債及び純資産の部合計	4,438,104

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。 10

財務情報

中間連結損益計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	70,501
資金運用収益	60,617
うち貸出金利息	59,511
うち有価証券利息配当金	607
役員取引等収益	6,774
その他業務収益	2,178
その他経常収益	931
経常費用	42,500
資金調達費用	2,157
うち預金利息	2,068
役員取引等費用	6,984
その他業務費用	1,892
営業経費	26,194
その他経常費用	5,271
経常利益	28,000

科目	金額
特別利益	2
固定資産処分益	2
特別損失	147
固定資産処分損	147
税金等調整前中間純利益	27,856
法人税、住民税及び事業税	7,698
法人税等調整額	826
法人税等合計	8,525
中間純利益	19,331
非支配株主に帰属する中間純利益	111
親会社株主に帰属する中間純利益	19,219

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,043	-	253,182	△ 750	282,475
当中間期変動額					
剰余金の配当			△ 2,430		△ 2,430
親会社株主に帰属する中間純利益			19,219		19,219
自己株式の取得				△ 2	△ 2
自己株式の処分		5		65	70
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	5	16,789	62	16,857
当中間期末残高	30,043	5	269,971	△ 687	299,333

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	16,121	△ 83	1,517	17,556	61	2,144	302,237
当中間期変動額							
剰余金の配当							△ 2,430
親会社株主に帰属する中間純利益							19,219
自己株式の取得							△ 2
自己株式の処分							70
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△ 3,586	14	△ 118	△ 3,690	△ 17	112	△ 3,595
当中間期変動額合計	△ 3,586	14	△ 118	△ 3,690	△ 17	112	13,261
当中間期末残高	12,535	△ 68	1,399	13,865	43	2,257	315,499

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報

第206期 中間貸借対照表 (平成28年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	902,200
コールローン	3,756
商品有価証券	71
金銭の信託	1,092
有価証券	230,970
貸出金	3,184,679
外国為替	2,723
その他資産	33,833
その他の資産	33,833
有形固定資産	49,985
無形固定資産	26,754
前払年金費用	3,735
繰延税金資産	3,242
支払承諾見返	3,997
貸倒引当金	△15,126
資産の部合計	4,431,916

科目	金額
(負債の部)	
預金	4,097,611
外国為替	18
その他負債	19,334
未払法人税等	7,885
リース債務	522
その他の負債	10,925
賞与引当金	679
役員退職慰労引当金	3,189
睡眠預金払戻損失引当金	240
偶発損失引当金	194
支払承諾	3,997
負債の部合計	4,125,266
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	18,591
資本準備金	18,585
その他資本剰余金	5
利益剰余金	246,779
利益準備金	30,043
その他利益剰余金	216,736
固定資産圧縮積立金	59
別途積立金	103,032
繰越利益剰余金	113,644
自己株式	△687
株主資本合計	294,726
その他有価証券評価差額金	11,944
繰延ヘッジ損益	△63
評価・換算差額等合計	11,880
新株予約権	43
純資産の部合計	306,650
負債及び純資産の部合計	4,431,916

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第206期 中間損益計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	64,114
資金運用収益	57,033
うち貸出金利息	55,940
うち有価証券利息配当金	596
役務取引等収益	6,130
その他業務収益	224
その他経常収益	725
経常費用	36,644
資金調達費用	2,161
うち預金利息	2,068
役務取引等費用	7,019
その他業務費用	184
営業経費	24,186
その他経常費用	3,091
経常利益	27,469

科 目	金 額
特別利益	1
特別損失	141
税引前中間純利益	27,330
法人税、住民税及び事業税	7,431
法人税等調整額	785
法人税等合計	8,216
中間純利益	19,113

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報

第206期 中間株主資本等変動計算書 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
						固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	30,043	18,585	-	18,585	30,043	59	103,032	96,961	230,096
当中間期変動額									
剰余金の配当								△2,430	△2,430
中間純利益								19,113	19,113
自己株式の取得									
自己株式の処分			5	5					
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	-	-	5	5	-	-	-	16,683	16,683
当中間期末残高	30,043	18,585	5	18,591	30,043	59	103,032	113,644	246,779

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算差額等 合計		
当期首残高	△750	277,974	15,525	△78	15,446	61	293,482
当中間期変動額							
剰余金の配当		△2,430					△2,430
中間純利益		19,113					19,113
自己株式の取得	△2	△2					△2
自己株式の処分	65	70					70
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			△3,581	14	△3,566	△17	△3,584
当中間期変動額合計	62	16,751	△3,581	14	△3,566	△17	13,167
当中間期末残高	△687	294,726	11,944	△63	11,880	43	306,650

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行ないます。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当)

9月30日(中間配当)

そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人ならびに特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

同連絡先

〒168-8620

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ 単元株式数について

当社株式の流動性の向上ならびに個人投資家を含めた全ての投資家層の拡大を図るため、単元株式数は次のとおりであります。

- (1) 当社の単元株式数は、100株であります。
- (2) 平成26年8月4日開催の当社取締役会にて単元株式数の変更ならびに当社定款第7条の変更を決議し、平成26年9月1日より単元株式数は、1,000株から100株に変更となりました。

◇ お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その他諸手続きについて
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 配当金の受取について
配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金の受取について
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱しております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (5) 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されているときは不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行なってください。

「ANA支店 Financial Center」オープン

平成28年10月21日、「ANA支店 Financial Center」を東京・日本橋のスルガビル2階にオープンいたしました。

当社は、これまで、全日本空輸株式会社と業務提携し、インターネット支店「ANA支店」を通じた金融商品のご提供や、リアルな顧客接点の場を介したお客さまとのコミュニケーションを図るため、スルガビル1階の「ANA支店 FINANCIAL SPACE」を運営してまいりました。このたび、更なるお客さま価値向上を目指し、スペースを約5倍に拡大するとともに、内装やコンテンツを大規模に刷新し、同ビル2階に新たにオープンいたしました。



「ANA支店 Financial Center」の特徴

- ・「ANAマイレージクラブ Financial Pass Visaデビットカード」の即時発行や金融に関するご相談受付
- ・旅や金融に関するセミナーやイベントの開催
- ・220インチの大型LEDパネルや約40機を配置したモデルプレーン・モニュメントの展示

「ららぽーと湘南平塚出張所」オープン

平成28年10月6日、「ららぽーと湘南平塚出張所」を新たにオープンいたしました。同店は大型商業施設「ららぽーと湘南平塚」1階に位置し、平日夕方ならびに土・日曜・祝日もご相談業務を承っております。



函南支店(旧大場支店)リニューアルオープン

平成28年9月12日、大場支店を移転ならびに名称変更し、装いも新たに「函南支店」としてオープンいたしました。

新店舗では、新たに最新型の全自動貸金庫を244マス設置するとともに、駐車場スペースを拡大いたしました。

今後も、お客さまに快適にお過ごしいただける店舗づくりを目指してまいります。



「スルガ銀行アプリ」リニューアル

スマートフォン専用アプリ「スルガ銀行アプリ」をリニューアルいたしました。

デザインを一新し、より簡単な操作が可能となったほか、GPS機能と連動した近隣店舗・ATMの検索性や、一部店舗の口座開設のお申込みが可能となりました。また、セキュリティ機能を強化し、より安心してご利用いただけるようになりました。



○未来設計アプリ「d-wallet」アンドロイド版提供開始

平成28年9月12日より、未来設計アプリ「d-wallet」アンドロイド版のご提供を開始いたしました。

iOS版同様、「ライフプランニング」機能により、将来の家計を手軽にシミュレーションすることができ、また、「d-labo(夢研究所)」の様々なコンテンツをお楽しみいただけます。

○メールマガジン「HTMLメール」配信開始

最新の商品やサービス、キャンペーン等の情報をお送りしているメールマガジンについて、これまでのテキストメールと併せ、「HTMLメール」での配信を開始いたしました。

「HTMLメール」はWebページのように画像の挿入や文字の加工ができる為、より分かりやすく、より読みやすくお届けできるようになりました。

“夢”の応援活動

スルガ銀行は一人おひとりの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをしております。

夢で繋がるコミュニケーションスペース「d-labo」

お客さまの夢を応援するコミュニケーションスペース「d-labo」では、お客さまと夢の接点を創るためにさまざまなイベント、セミナーの開催や、新しいライフスタイルのご提案、情報の発信を行っております。



人生を豊かにする知識と体験



▲音楽で人生を豊かにしませんか？
～英国製の蓄音器で聴く音楽の神髄～
@d-labo静岡(平成28年9月18日)



▲アレクサンドロス大王に神託をさずけた
神殿を訪ねて
@d-laboミッドタウン(平成28年9月16日)

同じ趣味を共有した仲間作り



▲火星の最接近を楽しむヒント
～d-labo 空の会
東京の空をもっと楽しもう!～
@d-labo二子玉川(平成28年5月25日)

明るい未来を描くきっかけに



▲紙にふれる ～さまざまな種類の紙
素材とのかかわりから 生まれる想像力～
@d-laboたまプラーザ(平成28年5月14日)



▲元気にクルクル!
はじめてのバトントワリング
@d-labo湘南(平成28年7月24日)



▲ネットとリアルが融合した“夢研究所”
d-labo WEB
詳しくはこちら <http://www.d-laboweb.jp/>

“夢”の応援活動

スルガ銀行はお一人おひとりの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをしております。

「I DREAM」サッカーを通じて“夢”を応援

「I DREAM」をコンセプトにサッカーに関わるあらゆる夢を応援しております。

日本サッカー界において、最も権威と伝統がある「天皇杯」をはじめ、Jリーグを代表するクラブと南米クラブ選手権王者が対決する国際大会「スルガ銀行チャンピオンシップ」、静岡県内の各年代別に開催している「SURUGA CUP」、社会人たちの熱い戦いが繰り広げられる「SURUGA bank CUP フットサルフェスタ」等に協賛しております。

平成28年8月10日開催
「スルガ銀行チャンピオンシップ2016IBARAKI」©JFA ▶



「アスクラロ沼津」の挑戦を応援

静岡県沼津市を本拠地とするクラブチーム「アスクラロ沼津」のユニフォームスポンサーをしております。静岡県東部地域初のJリーグクラブチームとなる彼らの熱い挑戦を地域の皆さまとともに応援しています。



◀平成28年6月4日開催
スルガCUP静岡県
チャイルドサッカー
第25回東部大会

平成28年 ▶
10月8日～10日開催
「スルガカップ2016
静岡県国際ユース
(U-15)サッカー大会」



CSR活動 社会・地域とのつながり

当社は社会の一員として役割や責任を認識し、お客さま、株主さま、地域社会など各ステークホルダーのご期待に応え、継続的に社会的責任を果たしてまいります。

教育・文化・福祉等支援活動の取組み

「チームラボアイランド Presented by スルガ銀行」への冠協賛

沼津ラクーン(静岡県)にて行なわれた「チームラボアイランド ー学ぶ! 未来の遊園地ー」(平成28年7月30日~8月28日開催)に、今年も冠協賛いたしました。

最新のデジタルテクノロジーを使った創造的なアートの体験により、子供たちの五感を刺激し、新たな可能性を発見する機会を支援しております。



「ふじのくに 水の循環ワークショップ」の開催

ふじのくに静岡の豊かな自然を次世代に継承していくために、地域の自然環境について学ぶワークショップを実施しております。平成28年8月6日には沼津市内の子供たちをご招待し、沼津港深海水族館館長の石垣幸二氏のご協力のもと、富士山から駿河湾までの水の循環の解説や、駿河湾の深海生物とのふれあい体験、沼津港深海水族館の親子見学などを行ないました。



青島広志氏による「未来の苗木コンサート」開催

音楽を通じて、子供たちの感動する心、豊かな人間性を育んでいきたいというおmoiを込めて、地域のご家族をご招待し、「未来の苗木コンサート」を開催しています。平成28年8月21日には、沼津市、富士市、御殿場市の約500名の地域のお子さまとご家族をご招待し、音楽家青島広志氏構成・演出・出演による第8回目未来の苗木コンサート「しあわせなシンデレラ」を上演しました。日本の歌からクラシックの名曲まで、大人から子どもまで一緒に歌って楽しめる曲が物語に合わせて演奏されました。



CSR活動 社会・地域とのつながり

当社は社会の一員として役割や責任を認識し、お客さま、株主さま、地域社会など各ステークホルダーのご期待に応え、継続的に社会的責任を果たしてまいります。

教育・文化・福祉等支援活動の取組み

静岡県教育委員会基金へ寄付

平成28年8月26日、国際感覚豊かな人材の育成を目的とし、高校生らの留学等を支援する、静岡県教育委員会「ふじのくにグローバル人材育成基金」へ100万円を寄付いたしました。

今後も、未来を担う子供たちの人材育成をサポートする活動を継続して行なってまいります。



企業経営研究所 海外研修・研究等助成金を交付

静岡県内の教職員の方々を対象に、海外で技術・技能・知識等を習得・研究し、子供たちに夢や感動を与え、分かち合うための活動を志す方々を選考し、助成金を交付しております。

今年は3名の方を、これまでに延べ47名の方々をサポートいたしました。



ピンクリボン運動をサポート

当社はNPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)のオフィシャルサポーターとして、平成19年より当社ATM時間外手数料の一部金額を「J.POSHピンクリボン基金」に寄付しております。

このたび、平成28年7月25日に第17回目の贈呈をいたしました。



「市制75周年 みしま花のまちフェア」への参加

「魅力ある地域づくりパートナーシップ協定」を締結している三島市の市制75周年の記念事業の一環として平成28年5月28日～29日に開催された「第4回みしま花のまちフェア」に参加しました。楽寿園(三島市)を中心に約2万5千人の人出となり、花を楽しみながら三島のまちを散策する人々で大いに賑わい、魅力あるまちづくりのための有意義なイベントとなりました。



24時間テレビ「愛は地球を救う」への協賛

平成6年より日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」へボランティア協賛しております。

今年は平成28年8月28日に静岡県駿東郡清水町のサントムーン柿田川にて、社内公募によるボランティア約30名が該当募金活動を行ない、大変多くの善意をお預りいたしました。



主なインターネット支店一覧

●詳細は各支店のホームページをご覧ください。

銀行取引でANAマイルが貯まるマイレージ&バンキングスタイル

ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

☎ 0120-029-589

(海外から (81)55-98-02988)

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:30～17:00



11人もの億万長者誕生の実績!

ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

☎ 0120-86-1689

お電話承り時間

月～土曜日(祝日を除く)9:00～17:00



銀行取引に応じてTポイントが貯まる

Tポイント支店

<http://www.surugabank.co.jp/tpoint/>

☎ 0120-854-789

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



ゆうちょ銀行でお申込みできるスルガ銀行のローンお取引店

ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

☎ 0120-745-600

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



[結婚][住まい]など人生の様々な「イベント」をオリジナル商品でサポート

リクルート支店

<http://www.surugabank.co.jp/recruit/>

☎ 0120-60-2225

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



あなたの夢を応援するローンサービスをご提供

ダイレクトワン支店

<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

☎ 0120-60-1616

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



インターネットを活用した金融サービスをご提供

Dバンク支店

<http://www.d-laboweb.jp/d-bank/>

☎ 0120-55-4189

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

☎ 0120-50-2189

お電話承り時間

月～土曜日(祝日を除く)9:00～17:00



銀行取引に応じてdポイントが貯まる

Dバンク支店 dポイントクラブ応援バンク

<http://www.surugabank.co.jp/docomo/>

☎ 0120-17-2038

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



gooポイントが貯まる金融サービスが充実

OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

☎ 0120-005-175

お電話承り時間

月～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00



営業店舗網(134か店) (平成28年10月31日現在)

●静岡県(78か店)

9E◎ 本店営業部
5 沼津市役所出張所
9E○ 沼津駅支店
8E○ 沼津港支店
9E○ 沼津南支店
8E 沼津静浦支店
9E◎ 沼津セントラル支店
9E○ 沼津岡宮支店
9E 沼津あしたか支店
9E○ 沼津青野支店
9E○ 沼津原町支店
9E◎ 三島セントラル支店
9E◎ 三島支店
9E○ 三島西支店
9E◎ 長泉支店
8E ウェルディ長泉出張所
9E◎ 清水町支店
9E 徳倉支店
9E○ 函南支店
9E○ 伊豆長岡支店
9E◎ 伊豆中央支店
8E○ 修善寺支店
8E○ 中伊豆支店
9E◎ 熱海支店
9E◎ 熱海駅支店
9E◎ 伊東支店
9E○ 伊東駅支店
8E○ 伊豆稲取支店
8E◎ 下田支店
8E○ 松崎支店
9E◎ 御殿場駅支店
9E◎ 御殿場西支店
9E◎ 御殿場東支店
9E○ 小山支店

8E◎ 裾野支店
9E◎ 富士吉原支店
9E◎ 富士支店
9E○ 富士鷹岡支店
8E◎ 富士宮支店
8E◎ 清水支店
9E○ 清水駅支店
9E○ 清水三保支店
8E 清水高橋支店
9E 興津支店
9E○ 草薙支店
9E◎ 静岡支店
6○ 静岡県庁支店
9E◎ 静岡南支店
9E◎ 静岡東支店
9E○ 東静岡支店
8E○ 伝馬町支店
8E○ 焼津支店
9E○ 岡部支店
9E○ 藤枝支店
8E○ 島田支店
10E○ 金谷支店
9E○ 榛原支店
8E○ 相良支店
9E◎ 掛川支店
9E 掛川駅前出張所
8E○ 袋井支店
8E○ 磐田支店
9E◎ 浜松支店
8E○ 浜松追分支店
8E○ 浜松北支店
8E 天竜支店
* ANA支店
* Tポイント支店
* リクルート支店

* Dバンク支店
* ドリームダイレクト支店
* ソネット支店
* OCN支店
* マイ支店
* ダイレクトワン支店
* イービジネスダイレクト支店
* タウンネットワーク支店
* ハウジングローン支店

●神奈川県(40か店)

7E 川崎支店
9E たまプラーザ支店
8E◎ 横浜支店
6 神奈川県庁出張所
11E○ 横浜東口支店
11E◎ 横浜日吉支店
9E○ 横浜戸塚支店
8E○ 横浜弥生台支店
8E○ 横浜若葉台支店
9E◎ 横浜磯子支店
9E○ 横浜六ツ川支店
9E◎ 横須賀支店
8E○ 横須賀武山支店
9E◎ 久里浜支店
8E○ 三浦海岸支店
9E◎ 藤沢支店
8E◎ 鎌倉支店
8E◎ 湘南ライフタウン支店
9E◎ 湘南台支店
6 慶應義塾大学出張所
9E○ 辻堂支店
9E◎ 茅ヶ崎支店
9E○ 茅ヶ崎鶴が台支店
8E 浜見平支店
9E◎ 平塚支店

10E ららぽーと湘南平塚出張所
9E◎ 厚木支店
9E○ 厚木鳶尾支店
8E◎ 相模原支店
8E○ 東林間支店
8E○ 中央林間支店
9E◎ 海老名支店
9E◎ 秦野支店
9E◎ 小田原支店
9E◎ 小田原東支店
9E◎ 大井松田支店
8E◎ 南足柄支店
9E◎ 箱根支店
8E 湯河原支店
◇ 湘南T-SITE出張所

●東京都(7か店)

9E◎ 東京支店
6E 渋谷支店
6E 新宿支店
7E ミッドタウン支店
7E 二子玉川支店
* ゆうちょ専用支店
◇ ANA支店
Financial Center

●広域店(9か店)

6 札幌支店
6 仙台支店
6 大宮出張所
6 千葉出張所
6 名古屋支店
6 京都支店
6 大阪支店
6 広島支店
6 福岡支店

店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

*印はインターネット支店(合計13か店)

◇印はその他営業店舗

E印はATM土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1～1/3および5/3～5/5を除く)

ただし5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は営業)

5はATM平日17時まで取扱店

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

自動取引機(ATM)設置状況

●店舗内設置 117か所 335台

●店舗外設置 40,443か所 43,083台

(うちスルガATM 164か所 185台)

(うちセブン銀行ATM21,292か所 23,056台)

(うちイーネットATM13,513か所 13,607台)

(うちタウンネットATM 481か所 481台)

(うちイオン銀行ATM4,993か所 5,754台)

●合計 40,560か所 43,418台

(平成28年10月31日現在)

ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	ドリームプラザ千葉	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	ドリームプラザ名古屋	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	ドリームプラザ京都	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	ドリームプラザ大阪	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	ドリームプラザ広島	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	ドリームプラザ福岡	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮		三島ハウジングローンセンター
		静岡ハウジングローンセンター
		浜松ハウジングローンセンター

資産運用ご相談窓口

ドリームサロン日本橋	ドリームサロン横浜	ドリームサロン厚木
ドリームサロン渋谷	ドリームサロン藤沢	ドリームサロン小田原
ドリームサロン新宿	ドリームサロン茅ヶ崎	

ATM ネットワークのご案内

入金も出金もできるATM



ゆうちょ銀行のATM



セブン銀行のATM



イーネットマークの
コンビニATM



タウンネットワーク
サービスのATM



イオン銀行のATM

出金ができるATM



全国の提携金融機関
ATM・CD

最寄りのATMの情報が検索できます。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/kojin/tenpo/search.html>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター ☎ 055-987-8182 24時間365日(有人受付)

同時に最寄りの警察(交番)にもお届けください。

詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**
お電話承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター



